

- 声で聴きたくなる新聞！ -

ユビキタス・ラジオ

新聞が、いつでもどこでも読めるように、新聞を音声で、いつでもどこでも聴けるように。



NPO法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター (SCCJ)
代表理事
みあこネット事業統括責任者
<http://www.sccj.com/>
高木治夫
takagi@sccj.com

2003年2月23日

IT化、でも障害者の自立には、まだまだ！

視覚障害者は、キーボードを覚え、Windowsを覚え、HPリーダを覚えても、まだ、新聞は読めない。各新聞のコンテンツの配置を覚え、検索エンジンの使い方を覚えて初めてスイスイ読める。

でも、この速度、晴眼者が読んでる速度よりずっとずっと遅い。しかも、PCの前でないと読めない！

IT機器を使いこなせるようにしても、一生懸命努力してもです。

読むのが億劫になる

例えばあるサイトのニュース記事をスクリーンリーダーを用いて読む場合、

[トップページ]画面上部と左に並ぶメニューやバナーリンクを読み上げ、次にトップ記事と記事の一覧リンクを読み上げ、最後に画面右部のバナー(広告)リンクやメニューを読む。

[記事ページ]トップページと同じ、画面上部と左に並ぶメニューやバナーリンクを読み上げ、ようやく記事本文。残りの記事一覧と画面右部のバナー(広告)リンクやメニューを読む。

となり、大多数のアクセシビリティを考慮していないページを読み上げる場合、リンクやバナーなど記事とは無関係の、言わばインターフェースを延々と読み上げる。

また検索エンジンを使えないと欲しい情報へアクセスすることもできない。

ホームページの新聞のサイトでは、「本文へジャンプ」する、あるいは、「ナビゲーションをスキップ」するボタンが付いていないので、本文へジャンプするには、検索エンジンのページ内検索機能を用いておこなう。

たとえば、朝日では、今日の朝刊、総合面、というページを開いて「next」という語でページ内を検索すると、ちょうど本文から読み上げさせることができる、といった具合に。

新聞のサイトに限らず、他の例としては、Yahooオークションでは、同様に、「すべて」という語を用いると、商品リストにジャンプできる。

声で聞きたくなる新聞



概要

Web上の情報(視覚をベースとした情報)
音声的情報にトランスコーディング
PDAなどのモバイル・インターネット携帯端末を利用
視覚障害者・高齢者・移動者に
リテラシフリー
ニュース・本・観光イベント情報、ライフライン情報などの情報を
音声で提供する。(文字情報としても見ることはできる)

特徴

- クビキタス
- いつでも、どこでも、必要なときに必要な情報を音声で聴ける
- 無線インターネット、AirH“(エアージェッジ)、b-mobileがあれば、いつでも最新情報が入手できる
- 入手後は、通信環境がなくても、いつでもどこでも聞き流しができる
リテラシフリー
- 誰でも直ぐに使える。
- 端末はPDAをベースに専用ソフトウェア化
- ノンPC、簡単操作、視覚障害者や高齢者も簡単に使える
- エージェントサーバ経由でネット上のコンテンツを簡単操作で聴き流せる
- 新聞が簡単に聞ける
日経、サンケイなどのWeb上の新聞情報が移動しながら聞ける
政治、経済、文化、スポーツ記事など
- 多言語対応(将来)
英語、米語、ドイツ語、スペイン語など多言語に対応

簡単操作

インターネット、Windows、PCの知識は不要!



社会的な効果

30万人の視覚障害者がリテラシーフリーで、新聞がいつでもどこでも聴ける。

30万人の視覚障害者は、自分一人で今まで新聞が読めていなかった。

Webを利用して読めるのは、ほんの一握りのスーパー視覚障害者のみ。

高齢者3000万人も、リテラシーフリーで、新聞がいつでもどこでも聴ける。

高齢者3000万人の何割かがいずれ、視覚では新聞が読みにくくなる。

市場

視覚障害者がシブアユーザとして新たな市場を創造

リテラシーフリー



高齢者 3000万人



経営者・ビジネスマン

小・中・高校生、大学生 1700万人

新聞が読める人はほんの少し

IPv6で最新ニュースのプッシュ化が可能

